



平成30年5月11日
株式会社 阿波銀行

平成30年3月期決算について

阿波銀行（頭取 長岡奨）は本日、平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の単体および連結決算を発表しましたので、お知らせいたします。

1. 平成30年3月期決算概要（単体）

主要計数	平成30年3月期	前年度比
預金平均残高（譲渡性預金を含む）	2兆7,813億円	382億円 増加
貸出金平均残高	1兆7,648億円	574億円 増加
コア業務純益	167億59百万円	9億83百万円 減益
経常利益	180億62百万円	9億20百万円 減益
当期純利益	114億15百万円	6億54百万円 減益
金融再生法開示債権比率	2.39%	0.42ポイント低下
自己資本比率（連結）	11.60%	0.05ポイント低下
経費率（修正OHR）	61.14%	0.64ポイント上昇

2. 決算ハイライト

- 譲渡性預金を含む総預金残高（平均残高）は、個人預金および法人預金が順調に推移し、前年度比382億円増加しました。また貸出金残高（平均残高）についても徳島県内をはじめ関東地区、関西地区それぞれにおいて順調に推移し、同574億円増加しました。
- コア業務純益は、貸出金利息の減収などにより資金利益が減益となったほか、役務取引等利益も減益となったことから、同9億円減益の167億円となりました。
- 経常利益は、実質与信費用が減少したものの、有価証券関係損益が減益となったことから、同9億円減益の180億円となりました。また、当期純利益は同6億円減益の114億円となりました。
- なお、コア業務純益、経常利益、当期純利益は、それぞれ業績予想（第2四半期決算短信公表時）との比較において、ほぼ計画通りとなりました。

3. 平成31年3月期の業績見通し（単体）

	コア業務純益	経常利益	当期(中間)純利益
平成30年9月期(中間期)	72億円	70億円	48億円
平成31年3月期	150億円	146億円	100億円

- 平成31年3月期の業績見通しについては、マイナス金利政策が継続される中、有価証券利息配当金が減収となることを主因に資金利益の減益を見込んでおり、上記のとおり予想しております。

詳しくは[決算短信](#)をご覧ください。

以上